

地域おこし協力隊配置要望書

川手地区では、以下の理由に基づき、令和3年度において「地域おこし協力隊」（以下、隊員）の配置を要望します。また、隊員の受入体制に十分な整備をしていることを併せて申し添えます。

地域の目標	<p>当地区は、稲作を主軸に畑作も含めた農業が盛んな地域です。しかし、少子高齢化に伴い、農地を手放す人が多くなり担い手不足が問題になっております。そういった農地を少しでも減らすように、農事組合法人などが頑張っており農地維持に努めています。ところが、その農事組合法人も担い手不足にあり苦慮していることも事実です。</p> <p>そこで今後配置される地域おこし協力隊には地域の一員となり、協力隊員として地域のくらしや農業のことを学んでもらい、その後、地域の農地維持及び農業の担い手として当地区に定住してもらうことを目標にします。また将来に亘り地域を維持するためのより良いインフラ整備の問題解決のアイデアを出してもらいながら地域とともに実行してほしいと考えています。</p>																		
隊員にして欲しい仕事	<p>【全隊員共通の活動】</p> <p>◆地区との関係づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・道普請のほか、各種集落行事に参加すること ・地区の活動を支援するなかで、地区への理解を深めること ・地区で何か困りごとがあれば、親身になって相談に乗り、可能であれば支援すること ・農業に積極的にかかわり、理解を深める。 																		
	<p>【上川手地区の活動支援】</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 10%;"></th> <th style="width: 30%;">目標（地区の将来像）</th> <th style="width: 40%;">今、協力隊がやるべきこと</th> <th style="width: 20%;">活動比率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">1</td> <td>農業の担い手育成</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ■ 農事組合法人ナレーニ川手での ・ 実際の作業を通しての稲作学習 ・ 実際の作業を通しての畑作学習 ・ 持続可能な農業のアイデアと提案 ・ 事務作業の補助 </td> <td style="text-align: center;">60%</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">2</td> <td>地域の維持存続</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ■ にいがた松之山山菜農園での ・ フラビ等の山菜の収穫、販売の学習 ■ その他 ・ 地域を維持していくためのアイデアと提案（耕作放棄対策やインフラ整備など） ・ 地区の産物の販売経路の開拓（産地直送、ネット販売等） ・ 祭りやイベントの支援 ・ 冬の暮らしの支援策提案 </td> <td style="text-align: center;">20%</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">3</td> <td>上川手・下川手の連携</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ■ 高齢者サロンの企画・提案など ・ 川手地区高齢者サロンの企画提案 ・ サロンを継続して行うための仕組みづくり ・ 集落間連携の検討 </td> <td style="text-align: center;">20%</td> </tr> </tbody> </table>				目標（地区の将来像）	今、協力隊がやるべきこと	活動比率	1	農業の担い手育成	<ul style="list-style-type: none"> ■ 農事組合法人ナレーニ川手での ・ 実際の作業を通しての稲作学習 ・ 実際の作業を通しての畑作学習 ・ 持続可能な農業のアイデアと提案 ・ 事務作業の補助 	60%	2	地域の維持存続	<ul style="list-style-type: none"> ■ にいがた松之山山菜農園での ・ フラビ等の山菜の収穫、販売の学習 ■ その他 ・ 地域を維持していくためのアイデアと提案（耕作放棄対策やインフラ整備など） ・ 地区の産物の販売経路の開拓（産地直送、ネット販売等） ・ 祭りやイベントの支援 ・ 冬の暮らしの支援策提案 	20%	3	上川手・下川手の連携	<ul style="list-style-type: none"> ■ 高齢者サロンの企画・提案など ・ 川手地区高齢者サロンの企画提案 ・ サロンを継続して行うための仕組みづくり ・ 集落間連携の検討 	20%
		目標（地区の将来像）	今、協力隊がやるべきこと	活動比率															
	1	農業の担い手育成	<ul style="list-style-type: none"> ■ 農事組合法人ナレーニ川手での ・ 実際の作業を通しての稲作学習 ・ 実際の作業を通しての畑作学習 ・ 持続可能な農業のアイデアと提案 ・ 事務作業の補助 	60%															
2	地域の維持存続	<ul style="list-style-type: none"> ■ にいがた松之山山菜農園での ・ フラビ等の山菜の収穫、販売の学習 ■ その他 ・ 地域を維持していくためのアイデアと提案（耕作放棄対策やインフラ整備など） ・ 地区の産物の販売経路の開拓（産地直送、ネット販売等） ・ 祭りやイベントの支援 ・ 冬の暮らしの支援策提案 	20%																
3	上川手・下川手の連携	<ul style="list-style-type: none"> ■ 高齢者サロンの企画・提案など ・ 川手地区高齢者サロンの企画提案 ・ サロンを継続して行うための仕組みづくり ・ 集落間連携の検討 	20%																
<p>【農事組合法人ナレーニ川手とは】</p> <p>○設立 平成24年（2012年）2月11日</p> <p>○目的 組合員の農業生産についての協業を図ることによりその生産性を向上させ、組合員</p>																			

	<p>の共同の利益を増進させること ○組合員 9名</p> <p>【にいがた松之山山菜農園とは】 ○認定農業者が耕作放棄地をワラビ園等として管理し、ワラビなどの山菜を販売している。</p> <p>【その他の活動】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の人から地区で暮らすための技術を学ぶこと (豪雪地での暮らし方、山間地での暮らし方、など) ・農事組合法人「ナレー二川手」の担い手の一人として事務経理や企画運営、農作業へ従事など ・宝の宝庫である自然からのめぐみと雪里の棚田米である魚沼産コシヒカリの産地直売、ネット販売等の開拓など ・「ナレー二川手」が栽培しているイチジクの生産、加工、販売の企画・実施 ・認定農業者が経営している「にいがた松之山山菜農園」のワラビなどを中心とした山菜の栽培、収穫体験、販売ルートの拡張など ・インフラ整備の一つとして、高齢者の冬の暮らしへの支援と改善に向けた方策の提案と実施など ・下川手集落と連携した川手地区のネット上の環境整備など ・下川手集落と協働した高齢者サロンの場のコーディネートなど ・上川手、下川手両地区の集落間連携を見据えた将来像を描く手助けをしていただきたい。
理想の隊員像	<p><input type="checkbox"/>向いている人柄、必要なスキル</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自然に関心があり、自然と触れ合う事が好きな人 ・農業に関心があり、農家と触れ合う事が好きな人 ・協調性があり、地域に溶け込める人 ・積極性があり、進んで関わろうとする人 <p><input type="checkbox"/>メッセージなど</p> <ul style="list-style-type: none"> ・四季の変化の大きい自然豊かな地域で、人情の深い人との交流を通して持続可能な暮らしの魅力をたっぷり味わってほしい。 ・雪の下で春を待ちわびた山菜の美味しさを堪能すると同時に、新事業の開発も可能である。

□地区の現状がわかる写真

春の上川手 中央の家が隊員の住まいとなる家



中央の家が隊員の住まいとなる家



初冬の上川手 中央の家が隊員の住まいとなる家



真冬の上川手



桜の季節の上川手 中央が隊員の住まいとなる家



□世話人の写真（全員分）

中心となる村山暁

2 番目 村山友義

3 番目 福原正直

女性 村山悦子



□住居の詳細がわかる写真

全景



玄関 外から



玄関 内から



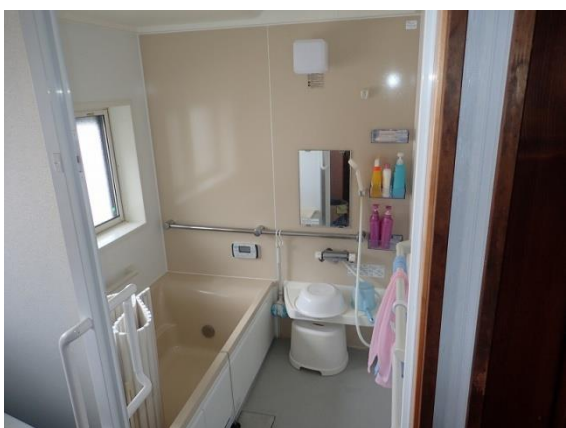
居間



台所



ユニットバス



水洗トイレ



洗面所



居間から台所（左奥）と奥の座敷（右奥）



奥座敷から居間を望む



玄関から二階に上がる階段



二階の部屋（東側）



二階の部屋（西側）



2階の大工部屋



□募集のキャッチフレーズ

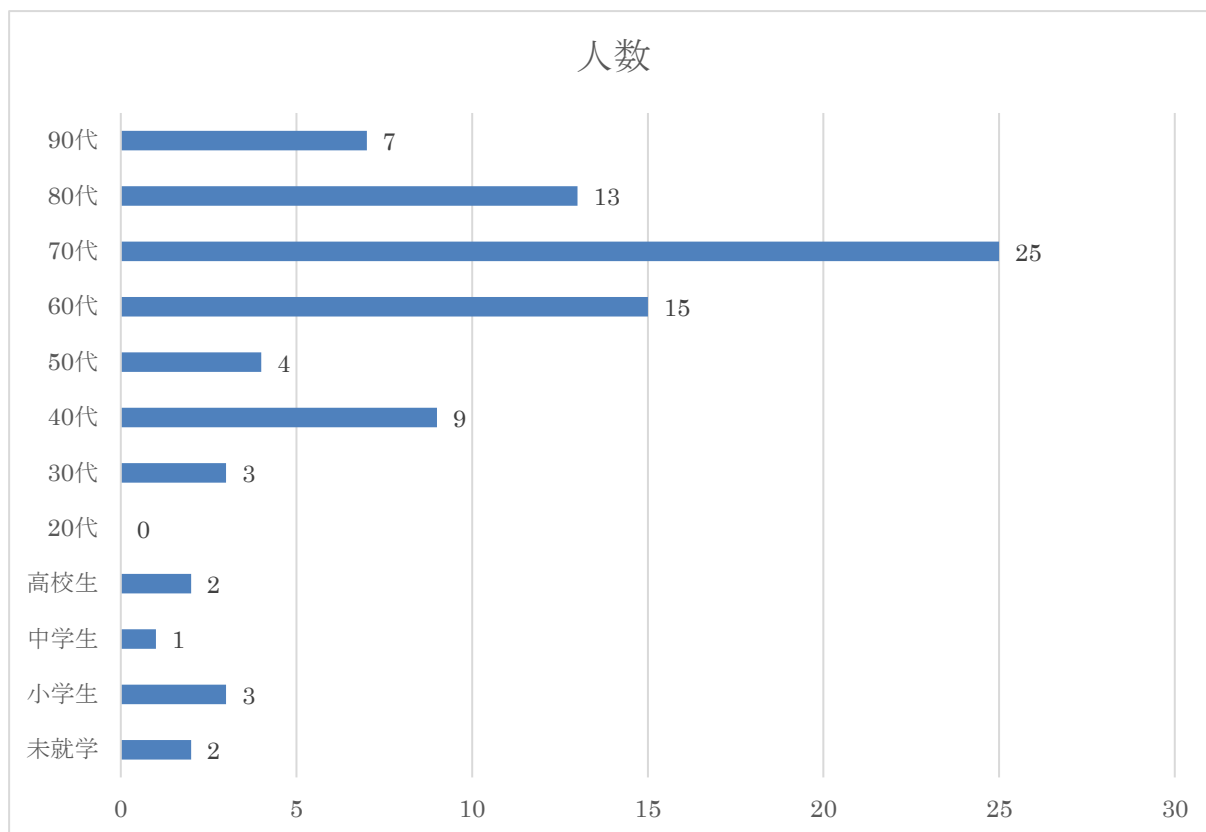
春の山菜を楽しみ、美味しいお米が収穫でき、人情豊かな人たちに囲まれた地域

□上川手の人口の様子 令和3年4月現在

31世帯 84名

男性 37人 (44%) 女性 47人 (56%)

65歳以上 53人 高齢化率 63.1%



隊員の活動可能な地域の主な年間計画

期間		具体的な活動概要	
		集落事業	農作業・その他
第1期	4月	集会所掃除 クリーン大作戦 春祭り コミュニティ広場草刈り	道路見分 種まき 田植え、山菜の収穫 道普請 水路掃除 ワラビ収穫 草刈り
	5月		
	6月		
第2期	7月	神社境内草刈り ゆとり大運動会 コミュニティ広場、神社境内草刈り 集会所掃除 盆踊り 秋祭り	草刈り
	8月		
	9月		稲刈り イチジク収穫
第3期	10月	神社冬囲い 自主防災訓練、集会所掃除 収穫感謝祭 2年詣り	道普請 水路掃除
	11月		
	12月		降雪とともに除雪作業が始まる
第4期	1月	新年年始会 どんど焼き（賽の神） 区総会	屋根雪処理
	2月		
	3月		

その他の情報

○上川手地区の主な農業団体

- 1 農事組合法人ナレーニ川手 代表 小野塚英雄

<https://xn--zcklx7evic7044c1qeqrozh7c.com/companies/7110005014721>

設立 2015年10月5日

現在の会員数 10名

田んぼの耕作面積 約15ha

- 2 有限会社 上之山農園

代表 村山キン

<https://www.houjin.info/detail/9110002025389/>

- 3 にいがた松之山山菜農園

認定農業者 村山良一 経営

<https://ameblo.jp/matsunoyamasansai/>